

臨床研究に関する公開情報

疫学研究とは、病気にかかることの頻度や病気の多さを調べて、その原因を明らかにする研究です。私たちは過去のカルテより得られた情報を利用して、現在まで行われた病気の診断・治療の評価を行い、より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。

下記の疫学研究は、兵庫県立尼崎総合医療センター倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。

また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡くだされば、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関して、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

<概要>

研究課題名：「余剰検体を用いた新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の抗体保有率調査」

研究期間：2020年8月から2021年7月までを予定しています。

対象：2020年8月から2020年10月に兵庫県立尼崎総合医療センターにて通常の診察において採血されたすべての方（2000名に達した時点で終了）。

なお、兵庫県全体では複数の施設の合計10000人の検査を行います。

研究目的：新型コロナウイルスが流行している中で、兵庫県下での抗体保有率を明らかにすることで、現時点での県内での感染状況を知ることができます。

方法：通常の診察時に採取された血液検体（血清）は、通常1週間保存したのちに廃棄しています。この廃棄する血清を用いて、神戸大学大学院医学研究科付属感染症センター臨床ウイルス学教室（本研究全体の代表）において新型コロナウイルスに対する抗体価を測定します。

それにあわせて診療記録より臨床情報（年齢、性別のみでお名前や住所などは含まれません）を収集します。研究成果は学会、および論文にて公表します。

個人情報：臨床情報は匿名化され、個人が特定できないようにして解析を行います。そのため、本研究に協力していただく患者さんに不利益が生じることはないと考えています。しかし、そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない方は、ご連絡いただければ解析対象から除外します。

問い合わせ先：研究責任者：遠藤和夫

兵庫県立尼崎総合医療センター 呼吸器内科

〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町2-17-77

TEL：06-6480-7000 FAX：06-6480-7001